

保護者様

横浜市立港南台第二小学校

校長 山手 英樹

平成29年度 全国学力・学習状況調査（本校の結果）

寒さが日増しに厳しくなる季節となりました。保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、平成29年4月に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査、及び意識調査における結果の概要を本校教育目標の観点から成果と課題を分析したものをお知らせします。

なお、本調査は、実施教科が国語・算数の2教科のみであり、調査項目が学習指導要領すべてを網羅しているものではないため、結果については、学校の教育活動の一側面となりますことをご了解いただければと思います。

本校教育目標	
○	元気で明るく、のびのびと生活する子を育てます（体）
○	自分を表現し、互いの思いを大切にすることを育てます（徳・開）
○	人を思いやり、進んで活動する子を育てます（徳・公）
○	問題解決にねばり強く努力する子を育てます。（知）

「平均正答率（％）」

	国語 A（主として知識）	国語 B（主として活用）	算数 A（主として知識）	算数 B（主として活用）
本校	77	63	88	60
横浜市	75	59	80	48
神奈川県	73	57	77	46
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

◎正答率では、知識・活用ともに全国や市の平均を上回り、その傾向は特に算数で顕著でした。また、両教科で特に B（活用）に顕著で、この点は昨年度に比べ向上しています。

◎正答数の割合の分布では、国語・算数とも、A（主として知識）では、全国や神奈川県に比べ、上位や中位に多く分布していますが、下位にも分布が見られます。B（主として活用）は、上位に多くの分布があり、下位にも分布が見られました。

児童の意識調査より

○子どもの意識 ～コミュニケーションの意識・自尊感情ともに全国平均より高い～

- ・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していると答えた児童の割合が全国(77.4%)に比べ81%と高い
- ・自分には、よいところがあると答えた児童の割合が全国(77.9%)に比べ85.7%と高い

○学習の様子

～話し合い活動や読書が好きだが、人の話を最後まで聞くことが苦手な子も～

- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意と答えた児童の割合が全国(52.2%)に比べ61.9%と高い
- ・友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができると答えた児童の割合が全国(85.5%)に比べ90.5%と高い
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞けると答えた児童が全国(94.3%)に比べ84.3%と低い。
- ・読書が好きと答えた児童の割合が全国(74.3%)に比べ83.4%と高い

～学習と社会生活とのかかわりを意識している児童が多い～

- ・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていると答えた児童の割合が全国(82.8%)に比べ85.7%と高い
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと答えた児童が全国(87.9%)に比べ90.4%と高い。
- ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えると答えた児童が全国(69.1%)に比べ88.1%と高い。

～粘り強く取り組もうとする児童の割合が高い～

- ・今回の問題について、「全ての理由や考え方などを書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童が国語は全国(77.2%)に比べ88.1%、算数は全国(69.9%)に比べ90.5%と高い。
- ・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えると答えた児童が全国(81.1%)に比べ88.1%と高い。

～算数への興味・関心が高い児童が多い～

- ・授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思うと答えた児童が全国(75.7%)に比べ83.3%と高い。

～深く思考したり、表現したりしようとする意欲が高い～

- ・国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていると答えた児童が全国(74.8%)に比べ81%と高い。
- ・算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えると答えた児童が全国(81.4%)に比べ85.2%、公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていると答えた児童が全国(82.6%)に比べ95.2%、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていると答えた児童が全国(86%)に比べ90.4%と高い。

～二極化が見られた項目～

- ・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない児童の割合が全国(19.5%)に比べ23.8%と高いが、難しいと思う児童の割合も全国(23.4%)に比べ28.6%と高い。
- ・国語の授業の内容はよく分かると思っている児童の割合が全国(38.9%)に比べ47.6%と高いが、よく分からないと思っている児童の割合も全国(4.3%)に比べ9.5%と高い。

○子どもの生活 ～家庭での会話が多く、TVやゲームの時間は比較的少ないが、朝食を時々食べない子も～

- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事についてよく話す児童の割合が全国(78.1%)に比べ85.7%と高い
- ・テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を「2時間以上」する児童の割合は全国(32.1%)に比べ19%と低い
- ・携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童の割合が全国(48.7%)に比べ61.9%と高い。
- ・朝食を「時々食べない」と答えた児童の割合が全国(4.6%)に比べ7.1%と高い。

○地域や人への関心 ～人やまちとかかわろうとする気持ちが高い～

- ・今住んでいる地域の行事に参加していると答えた児童が全国(62.6%)に比べ66.7%と高い。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童の割合が全国(63.9%)に比べ73.8%と高い。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合が全国(42.3%)に比べ52.4%と高い。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと答えた児童の割合が全国(70.4%)に比べ83.4%と高い。
- ・人の役に立つ人間になりたいと答えた児童の割合が全国(92.5%)に比べ95.3%と高い。

○将来の夢や目標について考える ～全国平均より低い～

- ・将来の夢や目標を持っていると答えた児童の割合が全国(85.9%)に比べ81%と低い。
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがあると答えた児童の割合が全国(50.4%)に比べ45.2%と低い。

○放課後の学習 ～学習塾に通っている児童の割合が高いが、家庭で予習や復習をしている児童の割合は低い～

- ・学習塾に通っている児童の割合が全国(46.3%)に比べ66.7%と高く、学習塾で学校より進んだ内容・またはより難しい内容を学んでいる児童の割合が全国(32.1%)に比べ50%と高い。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が全国(64.5%)に比べ59.5%と低く、また学校の授業の予習をしている児童の割合が全国(41%)に比べ33.3%、学校の授業の復習をしている児童の割合が全国(53.8%)に比べ42.9%と低い。

これらのことから、子どもたちは、保護者・地域・家庭の教育力に支えられていること、その実態をもとにした「子ども同士の話し合い活動や学び合い、グループ学習などの関わり合いを生かした学習」「総合的な学習や行事、フェスティバル等に向けた問題解決的な学習」「(日常生活と結びつけた) 発展的・活用的な学習」「子ども主体の行事や特別活動（クラブ・委員会・たて割り活動）」等の学校の取組が一定の成果を得ていることが伺えます。

今後も、「児童が将来の夢や目標をもてるようにする授業」「児童の関わり合う意欲を大切に、全ての児童が学習に自信をもち、成長を感じることでできる授業」を目標として日々の指導に取り組んでまいります。今後ともご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。